

## 会津若松市公告第 249 号

公募型プロポーザル方式により委託業務の受託者を選定するため、次のとおり公告する。

令和 6 年 8 月 6 日

会津若松市長 室井 照平

### 1 業務の目的

会津若松市立学校で利用する「統合型校務支援システム（以下「本システム」という。）」を整備することで、教育委員会及び教職員の校務事務の負担を軽減し、校務DXによる業務効率化や教員の働き方改革を推進しながら、児童生徒に向き合う時間を確保していく。

また、本システム導入により、公簿等帳票類の統一化を図るとともに、同システムが管理する児童・生徒に係る多岐の情報をデータベース化、学習履歴を経年で可視化させることにより、学校全体での児童・生徒それぞれに適した指導を可能にしていく。

さらに今後の方向性として、本システム導入によって学校関連情報がデータで整理されるため、これを活用し、生活の利便性向上を図る新たなスマートシティ事業の創出に取り組んでいく。（新スマートシティ事業は、本業務には含まないものとする。）

### 2 業務の概要

#### (1) 業務名

会津若松市統合型校務支援システム構築・運用業務委託

#### (2) 業務の内容

会津若松市統合型校務支援システム構築・運用業務委託要求水準書による

#### (3) 履行期間

契約締結の日から令和 7 年 3 月 31 日まで

#### (4) 委託上限額

19,910,000 円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

### 3 その他

参加資格など本件公募型プロポーザルの詳細については、会津若松市統合型校務支援システム構築・運用業務委託プロポーザル募集要項による。